

# 平成 28 年度 事業報告

社会福祉法人 やまなみ会

阿蘇総合支援センター

## 平成 28 年度

## 阿蘇総合支援センター事業報告

## 1 はじめに

平成 28 年度は 7 月から阿蘇総合支援センターと名称を変更するとともに、9 月には内牧事業所を開設し、らいふパートナー（相談支援事業）、らいふサポート（生計困難者レスキュー事業）そして地域療育センター事業の拠点を内牧事業所に移設したところである。また障害者、高齢者、子どもなど誰もが集える交流拠点として機能するために、地域交流サロン「暖らん」と称し、阿蘇地域の方々の生涯学習や生きがいがづくり活動等に利用していただいている。

社会福祉法人の貢献活動として平成 27 年度から立ち上がった生計困難者レスキュー事業については、本年度より当センターの業務として実施することになり、生計困難者の心理的不安の軽減や公的な制度等への橋渡しを行政との連携を図りながら行っている。相談支援事業についても、資格者の増員を図りご利用者お一人お一人の困りごとに向き合い、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう関係機関との連携を図りながら、業務に取り組んでいるところである。また、児童通所支援事業、阿蘇圏域地域療育センター事業、放課後児童健全育成事業を展開しながら子育て環境の充実にも力を入れてきた。

当センターは子どもから大人まで困りを抱えておられる地域住民が、気軽に相談出来、人生をよりよく生きる為の福祉の入り口で有り、職員はより高い専門性を求められることから、外部研修会への参加、センター内研修・学習会への外部講師依頼及び幹部職員による指導等職員教育に力を入れてきた。

今後も『選ばれる事業所』としての職員の意識を高め、ご利用者様に満足していただけるような支援の提供に努めていきたい。

## 平成 28 年度実施事業

事業内容等			スタッフ	
らいふパートナー	相談支援事業	一般相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行・地域定着支援事業</li> <li>・阿蘇市・産山村相談支援事業</li> <li>・住宅入居者等支援事業</li> </ul>	相談支援専門員 地域移行推進員
		特定相談支援事業		相談支援専門員 地域移行推進員
		児童相談支援事業		相談支援専門員
らいふサポート	生活困難者レスキュー事業		相談支援専門員 地域移行推進員	
阿蘇圏域地域療育センター事業	訪問療育（保育園・幼稚園・学校・施設等訪問） 外来療育（ゆっくり子育て相談会等） 施設支援 その他（巡回相談・健診事業支援・自閉症啓発デー）		療育相談員	
地域交流サロン「暖らん」	地域交流サロン事業		地域相談員	
児童発達支援多機能型事業所  のびのびハウス	児童発達支援事業  放課後等デイサービス事業  保育所等訪問支援事業		児童発達支援 管理責任者  保育士 児童指導員 指導員	
へきすい 元気っ子クラブ	放課後健全育成事業		保育士 指導員	

## 会議・研修会参加状況

月	研修	会議
4月		
5月		・阿蘇郡市地域特別支援連携協議会
6月		・阿蘇市特別支援連携協議会
7月		・阿蘇市特別支援教育に伴うブロック会議 ・阿蘇圏域相談支援事業所連絡協議会 ・放課後児童クラブ担当者会議
8月	・熊本県高等技術専門学校見学	・阿蘇市就学指導委員会
9月	・熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会総会・研修会 ・「自閉症スペクトラム及び発達障がいの特性とその支援の有り方について」 ・熊本県・熊本市連携発達障がいに関する講演会	・阿蘇地域療育センター調整会議 ・熊本県地域療育関係事業所連携会議 ・阿蘇地域療育ネットワーク会議
10月	・障害児通所支援事業所保育士等スキルアップ研修	・熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会役員会 ・協力雇用主の会説明会
11月	・熊本県強度行動障がい支援者養成研修 ・地域療育センター療育相談員研修 ・長崎県サービス管理責任者等養成研修(10/31・11/1・11/2) ・福岡県相談支援従事者初任者研修(11/15・11/16)	・第2回熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会 ・放課後児童クラブ担当者会議
12月	・熊本県相談支援従事者初任者研修(11/30・12/1・12/12・1/18・1/19)	・障がい者相談支援事業連絡協議会役員会 ・阿蘇圏域自立支援協議会中部ブロック会議 ・産山村教育支援委員会
1月	・熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会研修会 ・第5回熊本高次脳機能支援ネットワーク研究会 ・障害虐待防止・権利擁護研修 ・「児童虐待の理解と対応」についての講演会	・地域特別支援連携協議会巡回相談員会議 ・阿蘇市特別支援教育に伴うブロック会議
	・熊本県精神障がい者地域移行支援研修会 ・成年後見制度利用促進研修会	・阿蘇市特別支援連携協議会 ・阿蘇市特別支援教育ブロック別研修会 ・熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会

2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障がい支援者養成研修</li> <li>・熊本県喀痰吸引等研修第3号研修</li> <li>・第3回災害時心のケア研修会・平成28年度放課後子ども総合プラン推進事業研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇市就学指導委員会</li> <li>・放課後児童クラブ担当者会議</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者相談支援事業連絡協議会 県北ブロック総会・研修会</li> <li>・阿蘇地域ゲートキーパー養成研修</li> <li>・第1回きらきらセミナー「自閉症の特性と支援」</li> <li>・熊本地震後のこころのケア研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇地域療育ネットワーク会議</li> <li>・指定障がい福祉サービス事業者等集団指導</li> <li>・阿蘇圏域自立支援協議会</li> <li>・熊本県北部障がい者就業・生活支援センターがまだす連絡会議</li> <li>・阿蘇圏域相談支援事業所連絡協議会</li> </ul>

### 施設内会議

【センター幹部会議】・・・主任以上

- \* 管理者会議の報告
- \* 行事・研修会等の企画
- \* 課題の検討

【センター会議】・・・全職員

- \* 管理者会議・センター幹部会議の報告
- \* 当月行事予定等の確認
- \* 研修報告・・・研修参加者以外のスキルアップに繋げた。

【のびのびハウス会議】・・・のびのびハウススタッフ

- \* 学習会の開催・・・先輩職員が講師となり支援を行う為に必要となる知識の習得や、実際の支援場面を想定したロールプレイングを行った。
- \* 個別支援計画検討会

【事例検討会】

- \* 困難事例の検討等必要に応じて各セクションで随時開催する。

#### 留意事項

- ・ 全員参加できるように早めに日程を設定する。
- ・ 司会・記録は輪番担当し全員が経験できるようにする。
- ・ 会議録を整備し回覧する。
- ・ 検討課題は次回の担当（司会）に事前に提出する。
- ・ 研修の場としても活用しスタッフの資質の向上を図る。

## 《施設内会議実施状況》

月	会 議
4月	センター幹部会議・センター会議（震災により中止）・のびのびハウス会議
5月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
6月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
7月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
8月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
9月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
10月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
11月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
12月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
1月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
2月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議
3月	センター幹部会議・センター会議・のびのびハウス会議

## 2 各事業の実施報告について

## 【一般相談支援事業】

## (1) 阿蘇市・産山村相談支援事業（阿蘇市・産山村より委託）

今年度も障害を持ちながら地域で生活されている方々が、安心して暮らせるように、地域移行推進員が定期的にご自宅を訪問し、相談支援活動を行い身近なところで相談できる体制の充実に向け取り組んだ。

震災後はご自宅や避難所等を訪問し、安否確認を行い、ガスや水道が使えなく不自由されておられる方などに救援物資が届くよう支援した。

又、担当者会議等への出席により特定相談支援事業とも連携を取る事が出来、サービス等利用計画に沿った支援に繋がった事で、支援の幅が広がりご利用者様の満足につながる支援が出来た。

## 〈平成 28 年度相談支援事業（委託）利用実績〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数	41	41	31	41	40	40	39	39	39	39	40	40	44
延べ人数	139	110	41	76	73	63	57	61	75	61	54	57	867

## (2) 住宅入居等支援事業（地域生活支援事業～阿蘇市より委託）

今年度実績は 6 件（述べ件数）。

阿蘇圏域に於いて、障がいのある方が自宅以外で生活を送る際の地域資源の少なさから、障がい福祉サービスありき（グループホームや入所施設等）での選択になってしまいがちになっているのが現状で有る。

地域との連携を図りながら障がいについての理解を深めていただき、住み慣れた地域で生活を続けられるために住宅の確保への支援は大変重要な事業であると認識し、今後とも積極的に取り組んでいきたい。

## (3) 地域移行・地域定着支援事業

障がいのある方が、住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が安心・充実した地域生活を送ることが出来るよう地域定着支援への取り組みを計画しているところであるが、昨今の在宅福祉サービスの充実により利用者はいない。

当事業を遂行していくうえで、課題となっているのは夜間の対応である。緊急時に対応できるためには、当然ながら夜間の体制を整える必要があり一法人では財政的負担が大きいことが阿蘇圏域の共通課題となっている。

今後も関係機関との十分な連携による地域の支援体制の構築を図り、地域生活が継続されるための支援をしていく。

### 【特定相談支援事業・障がい児相談支援事業】

本年度より、相談支援管理システム「ほのぼの」を導入し、書類作成や記録業務の効率化を図るとともに、更新時期やモニタリング時期のタイムスケジュール管理等の充実に努めている。しかし従来の記録（エクセルシート）データを新しいシステムに移行する時間の確保が困難な状況にあり、完全移行までにはもう少し時間を要する状況である。平成 24 年度から各市町村で取り組みが始まったサービス等利用計画の作成も概ね対応が図られてきたところで、指定相談事業所の業務量も平準化してきている。しかし月別の対応件数は格差が大きく、スケジュール調整に苦慮している。

震災後はご自宅や避難所等を訪問し、安否確認を行った。水道が使えなくなったり、車で寝泊まりされていたり、ご利用者の生活状況は困難であったが、ご家族や地域の方々に励まされながら頑張られていた。飲料水などに不自由されておられる方などにはペットボトルや保存食品を持ちまわった。

また、本年度より相談支援専門員の人数が 2 人増加（新規採用 1 名＋従来の補助業務から専門員資格取得者 1 名）し、ご利用者一人一人の相談に時間をかけて対応することができるようになり、担当者会議やモニタリング充実が図られたことで、相談支援業務にかかる障害福祉サービス費の収入増が見込まれる。

## 〈平成28年度利用実績〉

	特定相談支援事業	児童相談支援事業	計
契約件数	152	94	246
サービス利用等計画作成件数（延べ件数）	50	46	96
モニタリング数（延べ件数）	81	80	161

月別サービス等利用計画面数	種別 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	特定相談	2	12	7	0	1	0	14	7	2	1	2	2	50
児童相談	1	3	8	5	3	5	3	8	6	0	0		46	
計	3	15	15	5	4	5	17	15	8	1	2	6	96	
月別モニタリング数	種別 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	特定相談	0	1	2	8	2	11	3	4	3	7	9	31	81
児童相談	2	2	5	8	0	8	6	4	9	10	6	20	80	
計	2	3	7	16	2	19	9	8	12	17	15	51	161	
総計 (計画+モニタ)		5	18	22	21	6	24	26	23	20	18	17	57	257



## 地域交流拠点事業「地域交流サロン暖らん」

障害者、高齢者、子どもなど誰もが集える福祉の地域交流拠点として機能するために、地域交流サロン「暖らん」と称した交流事業を行うとともに、福祉・教育に関連した活動を行っている地域住民の団体やサークルに施設利用を促した。

### ① 施設利用状況

<地域・関係団体等の利用>

利用内容	利用団体等	利用施設	利用回数等
太極柔力球	ひまわり	多目的ホール	随時
高齢者向け体操教室	社協(株ミタカ)	多目的ホール	定期(毎週1回)
生け花教室(生涯学習)	草心流教室	多目的ホール	定期(毎月1回)
内牧3区サロン(介護予防体操)	内牧3区サロン	多目的ホール	随時
ヨガ教室	カッパの会	多目的ホール	定期(毎週1回)
家計簿について学ぶ	カッパの会	多目的ホール	定期
バイオリンとマリンバ演奏 (対象:仮設団地入居者)	社協(地域支え合いセンター)	多目的ホール	随時
会議・研修等		会議室	月平均3回
相談面接		相談室	月平均2回

### ② 催しの開催状況

- ・ 12月のクリスマス会を開催・・・人形劇「ぶっくる」による人形劇、食事会・ひな人形観覧会(2月15日～3月3日の期間)・・・地域の方々に持ち寄っていただいたひな人形等を飾り、皆さんで観覧されながら楽しいひと時を過ごしていただいた。

## 生計困難者レスキュー事業1 事業報告

社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者の制度の狭間の諸問題等に阿蘇市生活相談センター、阿蘇市福祉事務所、阿蘇市社会福祉協議会、小国町社会福祉協議会等と連携し地域のセーフティネットの役割を担い4件のレスキュー事業に取組み、就労支援や生活保護決定までの経済的支援を実施した。

<ケースの概要>

- ① 阿蘇市在住の男性(60代で独居)、就労決定までの生活支援で食材費19,192円を支給したが、うつ病治療のため支援途中で生活保護に移行した。
- ② 阿蘇市在住の男性(50代で独居)、給料日までの生活支援(食材、ガソリン代、携帯代、医療費)で35,048円を支給した。
- ③ 小国町在住の男性(50代の夫婦)、給料日までの生活支援(食材、ガソリン代、医療費)で57,407円を支給した。
- ④ 阿蘇市在住の男性(60代で独居)、生活保護決定までの生活支援(食材、光熱水費、携帯代)で17,955円を支給した。

## 放課後児童健全育成事業（へきすい元気っ子クラブ運営事業）

### 1 事業報告

今年度から、阿蘇市の子育て支援政策関連事業として委託を受け、阿蘇小学校体育館2階で運営に取り組んだ。

熊本地震による設備の被害もほとんどなく、4月16日（土）から5月8日（日）まで15日間閉所したが、その後、児童も元気に登校し通常の運営を取り戻すことが出来た。グラウンド、体育館、プール等の施設を利用するため、学校そして保護者との連携をより密にすることが大切だと感じた。今後の課題として、安定した運営を実施するには指導員の有資格者の雇用とスキルの向上を図ることが重要であると認識した。

### ① 運営の内容

- i) 開所日 日曜日、祝日、お盆（8月13日～15日）及び、年末年始（12月29日～1月3日）を除く日。1年間で【278日】
- ii) 開所時間 小学校の授業日 放課後～18：00  
土曜日、長期休暇 7：30～18：00
- iii) 児童数 42名（平日, 長期の利用）22名（長期休のみ）
- iv) 指導員 6名（うち1名は保育士の資格あり）

### ② 月別の行事

4月	連絡調整会議（保護者会役員、やまなみ会）
5月	指導員会議
6月	連絡調整会議（保護者会役員、やまなみ会）
7月	保護者会定例会
8月	お誕生会、夏休みレクレーション、
9月	指導員会議
10月	指導員会議
11月	連絡調整会議、へきすい元気っ子クラブ紹介（次年度就学児健康診断時）
12月	クリスマス会、お誕生会、避難訓練
1月	冬休みレクレーション
2月	指導員研修会（熊本県主催）、子供教室
3月	退所式、指導員会議

## 《阿蘇地域療育センター運営事業》

## 1、保護者会・家族教室・育児サークルなどの『当事者交流の場』

## 【保護者の集い】

期 日	場 所	内 容	対 象	参 加
11月19日	阿蘇総合福祉センター	ゆっくり子育て相談会 (お菓子作り)	保護者 子ども	5名
12月23日	阿蘇総合福祉センター	ゆっくり子育て相談会 (クリスマス・人形劇鑑賞)	保護者 子ども	50名
1月28日	阿蘇総合福祉センター	ゆっくり子育て相談会 (節分お面作り)	保護者 子ども	参加希望 なし
2月18日	阿蘇総合福祉センター	ゆっくり子育て相談会 (ひな祭りお楽しみ会)	保護者	21名

## 【研修や学習会等への参加】

期 日	開催主体	内 容
5月31日	阿蘇郡市地域特別支援連携協議会	平成28年度事業計画について
6月17日	阿蘇市特別支援連携協議会	平成27年度事業報告及び28年度事業計画について
7月5日	阿蘇市特別支援連携協議会	第1回中学校区別(7/5阿蘇中・7/12一の宮中・7/19波野中)ブロック会議 就学及び幼・保、小、中連携について
7月12日		
7月19日		
7月15日	産山小学校	職員向けに、発達障がい及び特性のある子どもへの関わり方等について(支援学級への転籍について)
7月20日	波野小学校	職員、保護者向けに子どもへの関わり方等及び進路について(支援学級への就学について)
11月17日	こども総合療育センター	地域療育センター療育相談員研修 ・地域療育センター、療育相談員の役割について ・療育相談員の動きについて等
12月6日	阿蘇西小学校	職員、特別支援学級保護者向けに、療育手帳について卒業後の進学及び就労、特別支援学級在籍児童の思春期を迎える児への配慮や告知のタイミング等について
1月24日	阿蘇郡市地域特別支援連携協議会	地域特別支援連携協議会巡回相談委員会議
1月14日	熊本県社会福祉会	児童虐待研修会 貧困と虐待の連鎖をたち来るために必要なこと
1月14日	南部発達障がい者支援センターわるつ(八代市)	ペアレントメンター事業の説明会及び合同研修会

1月24日	阿蘇郡市地域特別支援連携協議会	地域特別支援連携協議会巡回相談委員会議
2月 3日	阿蘇市特別支援連携協議会 (一の宮中学校ブロック)	第2回中学校区別ブロック会議 就学及び幼・保、小、中連携について
2月 7日	阿蘇市特別支援連携協議会 (阿蘇中学校ブロック)	
2月 8日	阿蘇市特別支援連携協議会 (波野中学校ブロック)	
2月 4日	北部発達障がい者支援センターわっふる (大津町)	北部ペアレントメンター養成研修会 (茶話会)
2月 9日	SSW活用事業阿蘇地区連絡協議会	本年度の館内の状況、SSWの活動報告、本年度の各市町村の取組について等
2月27日	阿蘇市特別支援連携協議会	本年度の取り組みについて、 次年度の計画について

## 2、当事者交流の場を活用した『個別相談・指導の場』

### 【在宅支援訪問療育等指導事業】

在宅の障がい児やその疑いのある児・保護者や関係機関に対して、保護者からの依頼で訪問の方法（園や学校、ご家庭に伺う）により、各種の相談・指導を行う。

\* 健診やその後のフォロー時及び各関係機関からの勧めで、保護者からの訪問（家庭や、園学校・施設等）の依頼があった場合も支援の対象。

<在宅支援訪問療育等指導事業実施件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	0	8	3	8	7	1	5	9	1	5	9

### 【在宅支援外来療育等事業】

在宅の障がい児やその疑いのある児・保護者や関係機関に対して、保護者からの依頼で外来の方法（地域療育センターに来ていただく等）により、各種の相談・指導を行う。

<在宅支援外来療育等指導事業実施件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	0	4	2	1	0	0	5	1	2	1	1

### 【健診場面を利用した個別相談、助言】（阿蘇市療育相談事業）

健診の機会を活かし、保健師や保護者の相談に対して助言・支援を行い、早期発見・早期療育を目指すもの。

また、健診後フォロー児へ集団場面の確認依頼を保護者から出してもらい、園訪問後等の集団場面も含め児の困りについて、保護者へお返しすることで保護者の理解につながりやすかった。

### 3、療育サービスの提供に当たり関係者の『調整を行う場』

- ネットワーク会議
- ネットワーク運営委員会
- ネットワーク実務者会(随時)
- こども総合療育センターとの調整会議
- 事例検討会議の企画、参加
- 特別支援連携協議会への参加（阿蘇市・阿蘇郡市）

### 4、個別・グループ療育等を行う『療育の場』

- 児童発達支援事業所、放課後デイサービス事業所の紹介
- 体験型外来療育の実施

(主な活動内容)

乾布摩擦・主活動（サーキット、クッキングタイム、製作活動）・おやつ・歯磨き

### 5、地域関係者への『巡回支援を行う場』

#### 【施設支援一般指導事業】

在宅の障がい児や、その疑いがある児への保育や教育及び療育を行う園・学校・施設等（児童通所支援事業所を含む）からの依頼で、職員に対し療育に関する技術の指導、相談を行う。

<施設支援一般指導事業件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	4	1	0	0	1	1	0	0	1	8

### 6、ボランティア等との『地域交流の場』

- 地域療育センター・児童発達支援事業所・放課後デイサービス事業所の見学同行
- 特別支援学級等、関係施設の見学会等への案内
- ボランティア等（大学生、実習生の受け入れ）
- 阿蘇圏域地域療育センター活動の周知
  - ・療育センター活動については、ポスターやリーフレットを作成し、各保育園、幼稚園、学校等に出向き周知を行った。
  - ・各市町村の行政機関窓口や保健センターの健診の際に、療育センターについて紹介して頂くようリーフレットを配布し周知を図った。

### 7、医療・療育機関（施設）から地域療育機関への『移行（つなぎ）の場』

- 市町村、保育園、幼稚園、学校から医療機関、療育機関へのつなぎ

- 熊本県子ども総合療育センター等の医療機関、療育機関へのつなぎ
- 療育機関から、地域の保育園等への就園へのつなぎ
- 就学時のつなぎ（学校訪問、見学、支援会議など）
- 児童支援利用計画の本格的な運用に当たり、児童相談事業所、地域療育センター、児童通所支援事業所が連携を深め、療育をスムーズに受けるためのつなぎ

## 【熊本県子ども総合療育センターとの連携】

### 1、定期支援

熊本県子ども総合療育センター拠点施設支援による計画的に行われる支援。

※圏域内サービス提供事業所の日程調整等幹事市町村にて行われた（調整会議）

### 2、随時支援

依頼先	支援日	希望職種	内 容
坂梨保育園	8月 8日	理学療法士	現在の身体の状態に合わせた環境整備、ケアの仕方、支援のあり方について。
のびのびハウス	1月25日	保育士 心理療法士	児童発達支援事業の単独療育において、活動の進め方、児への関わり方について。
のびのびハウス	2月20日	保育士 心理療法士	児童発達支援事業の単独療育における支援のスキルアップについて。
くれぱす	2月24日	作業療法士	これまでの経過を踏まえた児童の特性に応じた支援のありかたについて。 (雪のため開催中止)

## 児童発達支援多機能型事業所《のびのびハウス》

### (児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業)

今年度は事業年度当初の地震に伴い電気・水道が使用不可能となり、12日間利用の受け入れを行う事が出来なかった。震災時は同法人内くんの里への支援物資等を在宅の障害児宅へ訪問し物資の提供及び安否確認を行ったが、車中泊を余儀なくされている児童の受け入れ等早期に対応できなかった事は課題が残っている。

その後も道路事情、学校が再開されなかった事等地震の影響は大きく、平常時営業に戻る事が出来たのは5月の連休明け(阿蘇地域の学校が授業再開)であった。しかし一部の利用児(家族)の心身の不安定さは長期化している。

また、センター内組織体制見直しに伴い児童発達支援管理責任者欠如となり加算が取れない事に加え減算が発生した事も有り、今後事業所としてこのような事が起きないために要件を満たす職員のキャリアアップも含め児童発達支援管理責任者研修の受講により2名体制で事業を行った。また、下半期より、職員間の意識の統一を図り、求められている療育を行なう事が出来る様、職員のスキルアップを図り、より専門性の高いサービス提供を行う事や、ご利用者様の継続的な利用に繋げるために、日々の療育活動を行うに当たり、ご利用者様一人一人のニーズに沿った療育の目的について、毎日のミーティングや月に一回の『のびのびハウス会議』、熊本県子ども総合療育センターの定期・随時支援に於いて専門職(心理療法士、保育士)からの支援を受ける事等はかり、療育活動の充実を目指した。

### ①平成28年度 運営状況

	児童発達支援事業	放課後等デイサービス事業	保育所等訪問支援事業
営業日	毎週月曜から日曜・祝祭日 (12月29日～1月3日を除く)		毎週月曜から日曜・祝祭日 (12月29日～1月3日を除く) *園や学校休業日に準ずる
開所時間	9:30～17:30	学校休業日9:30～17:30 平日15:30～17:30	9:30～17:30
登録人数	24	36	60

### ②平成28年度 学習会等開催状況

開催日	内容	講師	参加者
6/20	口腔内の衛生について	きずな歯科 院長 我那覇生純 様	保護者1名 保育園6名
12/7	福祉サービスについて	児童発達支援管理責任者	のびのびハウススタッフ7名
12/16	身辺自立について 着脱編	(前)児童発達支援管理責任者	のびのびハウススタッフ7名

H29. 1/18	身辺自立について 排泄編	(前) 児童発達支援管理責任者	のびのびハウススタッフ7名
3/15	身辺自立について 食事・歯磨き編	(前) 児童発達支援管理責任者	のびのびハウススタッフ7名
胃ろうによる経管栄養の実習等			
H28. 11/21	通学中小学校へ担当看護師による 注入時の様子の見学	阿蘇市立阿蘇西小学校 担当看護師	なでしこの里看護師 のびのびハウススタッフ3名 保護者
11/26	のびのびはうすにて 現場演習	なでしこの里看護師	なでしこの里看護師 のびのびハウススタッフ3名 保護者
12/4 (AM)	のびのびハウスにて 実地研修 (第一回目)	なでしこの里看護師	なでしこの里看護師 のびのびハウススタッフ3名 保護者
12/4 (PM)	のびのびハウスにて 実地研修 (第二回目)	なでしこの里看護師	なでしこの里看護師 のびのびハウススタッフ3名 保護者

**\* 熊本県喀痰吸引等研修について**

のびのびハウスに於いて胃ろう使用にて栄養の注入をおこなっている児の利用が有り、現在保護者に於いて処置（AM水分補給、正午栄養注入、午後水分補給）を行っているが、スタッフでも可能となる様、平成26年度より県の研修を受講し（3名）演習・実習を行ってきた。しかし、当初阿蘇圏域内に指導看護師がいなかった事や、演習・実習の事前事後の書類作成は、医療機関、地域のネットワーク等との連携も含め行う必要が有り、のびのびハウスにて職員が胃ろう処置が出来るようになるためにはスムーズには進まない現状が有る。

また、今回の演習・実習については特定の児へのみ有効で有り、別の利用児の際は、演習・実習・書類提出が再度必要となる。

のびのびハウスは、現在医療的ケアを要する障がい児の地域での受け皿（療育を行う）としての役割も求められている事や、障がいの有る児の利用に於いて緊急時の医療的な処置や判断も含め、看護師等の医療的ケアを施す専門的なスタッフの確保・地域医療機関等との連携が必要で有る。

**③平成28年度行事参加状況**

開催日	行事名	参加人数
12/23	阿蘇総合支援センター合同クリスマス会	児発2名 放課後5名
H29. 1/18	くんわの里 どんどや	児発0名 放課後8名

**○児童発達支援事業（就学前児童）**

新規登録は減少している。原因としてのびのびハウスが主として行っている親子療育につ



いて、保護者が同伴できないケースが増加しており、単独通所を希望されていた利用者が他事業所の利用となっていた事があげられ、下半期より児童の単独通所を本格的に開始。保育園年長・年中児を中心に行った。

《良かった点》

- 保護者や家族の都合での利用キャンセルが防止でき定期的な利用に繋がった。
- 児童発達支援の紹介をしてもらう際、単独通所が出来る事業所としての紹介で仕事を持っている保護者の選択に繋がった。

《反省点》

- 今年度当初より実施の予定だったが、地震等の影響も大きく本格始動が遅れた。
- 児童単独での利用となり、家族へのフィードバックが出来にくい事や、家族や園等を巻き込んでの関わり方への支援には課題が残った。
- 就学前児童療育の経験の長い職員の人事異動に伴い身辺自立面（着脱・食事・排泄・歯磨き等）の学習会を行ったが、経験の少なさから自信を持ってないスタッフの児童への関わりについては課題が残った。

〈児童発達支援事業平成 28 年度利用実績〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用人数	8	7	22	15	15	14	19	23	20	20	18	22	203
延べ利用人数	11	17	36	32	33	33	46	49	39	48	47	41	432

### ○放課後等デイサービス事業（学齢児童）

今年度も、前年度の3月末に保育園や幼稚園を卒園する児を対象に体験や見学を行ったことで児童発達支援事業から放課後等デイサービス事業へのスムーズな移行を図る事ができ低学年の利用者数は増加している。

また、小学校への送迎については時間や職員配置状況から阿蘇総合支援センター（内牧）の職員へ送迎応援を頼んでいたが、今年度2月より送迎担当職員の配置により依頼回数を減少出来た事や受け入れ担当職員の充実が出来た。

しかし今年度4月の地震以降西原村からの児童単独通所について利用希望が有ったが道路事情により、受け入れ態勢の課題や送迎に時間がかかる事から（渋滞時やグリーンロード使用で迎えのみで3時間）お断りをしなければいけないケースが有っている。

またグループ療育だけでなく保護者と通所する個別療育を定期的に利用して頂く事が十分に伝わっておらず個々の課題に応じたより丁寧な関わり・相談の出来る個別療育を定期的に利用して頂く事が出来ていない。

〈放課後等デイサービス事業平成 28 年度利用実績〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用人数	29	22	24	30	27	26	22	25	25	25	25	26	306
延べ利用人数	148	209	247	263	292	240	220	201	188	187	171	244	2,610

### ○保育所等訪問支援事業

通所利用に対する配置基準や専門スタッフの不足から、下半期保育所等訪問支援へのスタ

スタッフ配置が難しく訪問日も限られた。

保育所等訪問支援への保護者からのニーズの高さと園や学校の受け入れに温度差があり、日程調整等困難な面もあるが、児童相談事業との連携も図りながら利用者のニーズに合わせた支援を今後も行っていきたい。

< 保育所等訪問支援事業平成 28 年度利用実績 >

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実利用人数	0	0	12	2	0	7	4	0	0	0	0	2	27
延べ利用人数	0	0	12	2	0	7	4	0	0	0	0	2	27

○平成 28 年度のびのびハウスアンケート実施（対象：保護者）

今年度のびのびハウスではご利用様の要望・希望に沿ったサービスの提供を行わせて頂き、一人一人のお子様のより良い発達支援を目指して行く為に、アンケート調査を行った。

実施日：平成 29 年 1 月 7 日～1 月 20 日

対象者：のびのびハウス登録者（60 名）

回答者数 25 名/登録者 60 名（回答率 41%）

I. II ご利用されるお子様の年齢・所属

年齢	所属	回答者数（名）
3 歳	年少	1
4 歳	年中	1
5 歳	年中	1
<b>6 歳</b>	<b>年長</b>	<b>10</b>
7 歳	小学校 1 年生	4
8 歳	小学校 2 年生	3
9 歳	小学校 3 年生	1
10 歳	小学校 4 年生	2
12 歳	小学校 6 年生	1
13 歳	小学校 6 年生	1
回答者数合計（登録 60 名中）		25

III 保育所等訪問支援事業（園や学校等へスタッフが訪問し支援を行う事業）の利用について

年齢	利用中（名）		利用していない（名）	
	今後も同じ頻度で利用したい	今後は利用回数を増やしたい	今後利用したい	今後も利用する予定はない
3 歳		1		
4 歳	1			
5 歳			1	
6 歳	6	3	1	
7 歳			3	1

8歳	1	1	1	
9歳	1			
10歳			1	
12歳				1
13歳				1
合計	9	5	8	3

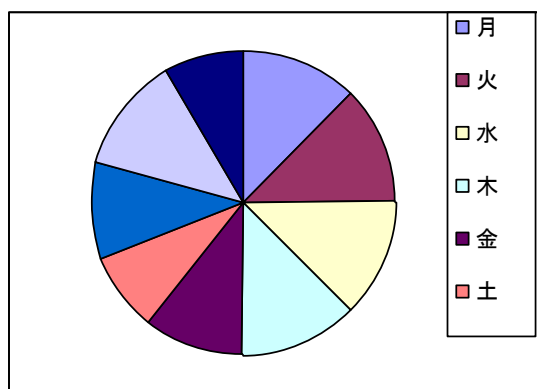
## ご意見・ご要望

- ・ 保育所訪問の回数を増やしてもらいたいと思っているが、訪問してきた内容をスタッフ全員で共有してもらい今後の支援に活かして頂きたい

## IV ご利用の希望について

## ① a、 利用したい曜日（複数回答）

	月	火	水	木	金	土	日	祝・祭	無回答	計
3歳						1	1			2
4歳							1			1
5歳									1	
6歳	2	3	2	2	1	2	3	4		19
7歳	1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
8歳	2	1	2	2	2	1	1	1		12
9歳	1		1	1	1					4
10歳									1	1
12歳			1							1
13歳									1	1
合計	6	6	6	6	5	4	5	6	4	51



全年齢を通じると希望の曜日に大きな差は無いが、親子通所のみを設定している就学前児については保護者の就労形態に合わせた土日利用の希望を出されている。

## b、利用頻度

	週1~2回	週2~3回	週3~4回	毎日	月1回	無回答	計
3歳	1						1
4歳					1		1
5歳	1						1

6歳	5	3	1			1	10
7歳	1					3	4
8歳	1	1				1	3
9歳						1	1
10歳	1	1					2
12歳	1						1
13歳						1	1
合計	11	5	1	0	1	7	25

### c、長期休暇利用希望（複数回答）

	春休み	夏休み	冬休み	無回答	計
3歳				1	1
4歳				1	1
5歳				1	1
6歳	3	3	3	6	15
7歳	3	3	2		8
8歳		1		2	3
9歳	1	1	1		3
10歳	1	1	1		3
12歳				1	1
13歳				1	1
合計	8	9	7	13	37

### その他ご希望

- ・ 空気感染など、風邪やインフルエンザ対策の為に、空気清浄機等を設置して頂ければありがたいです。⇒平成29年度購入予定
- ・ 学校の振休や悪天候で登校できない時に利用したい⇒当日の利用状況・職員の配置状況等で受け入れ可能。
- ・ 今は週一回だが、今後小学校に上がった時にどんな利用の仕方をするか考えたい。

### 2 利用希望時間帯について（複数回答）

	午前	午後	終日	無回答	計
3歳	1				1
4歳	1	1			2
5歳		1			1
6歳	4	3	2		9
7歳		2	2		4
8歳		3	1		4
9歳			1		1
10歳				1	1

12 歳		1			1
13 歳			1		1
合計	6	11	7	1	25

#### その他ご希望

- ・ 小学校が始まると午後 17 時まで、長期休暇中は 8 時～17 時半まで利用したい⇒**利用可能**
- ・ (午前利用について) AM9:30～12:00 を希望、(終日利用について) 春・夏・冬休みを希望⇒**利用可能**
- ・ 夏休みや冬休み中は 8:30～17 時位まで利用したい⇒**利用可能**
- ・ 土・日祝祭日の学齢児の個別の時間を午前中も出来ればと思います⇒**検討中**
- ・ 長期休暇中午後 1:00～利用させて頂きたいです。⇒**利用可能**
- ・

### 3 支援内容について (複数回答)

	① 親子グループ療育	② 単独グループ療育	③ 個別療育	④ 親子グループ療育 + 単独グループ療育 個別療育	⑤ 単独グループ療育 + 個別療育	⑥ 親子グループ療育 + 個別療育	⑦ 保育所等訪問支援	計
3 歳			1			1	1	3
4 歳						1	1	2
5 歳						1		1
6 歳	2	4	2	3	2	1	3	17
7 歳		1	1		1	1	1	5
8 歳		3	1			1	1	6
9 歳			1					1
10 歳								
12 歳			1					1
13 歳		1	1					2
合計	2	9	8	3	3	6	7	38

#### その他ご希望

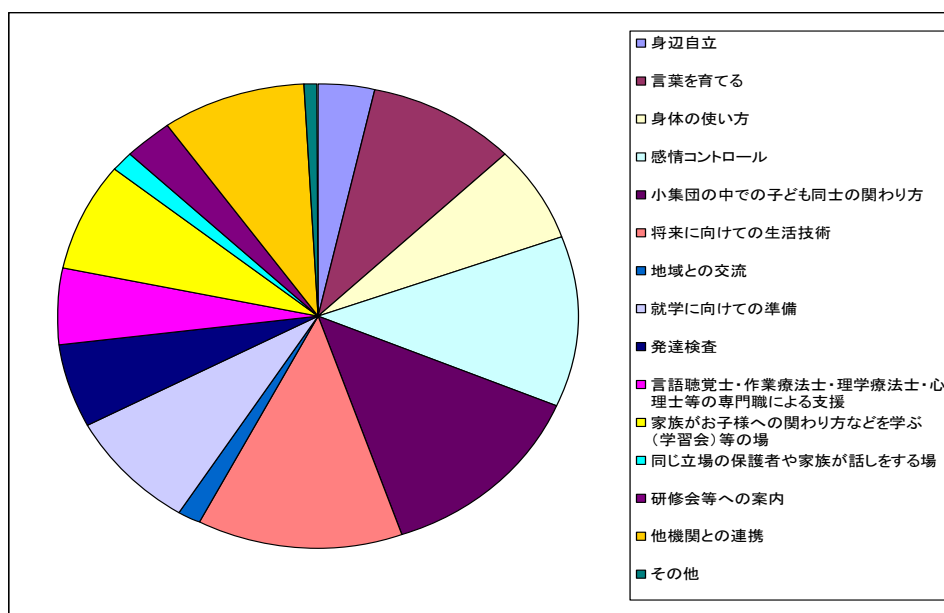
- ・ ほぼ毎日グループ療育を利用するので利用日数一杯使うので個別療育を入れる事が出来ないで土・日・祝祭日のグループ療育終日利用の際、個別療育が出来れば良いなと思います。⇒**活動状況、利用状況等検討し導入予定**
- ・ グループ療育の中での短時間でもよいので個別療育を希望⇒**活動状況、利用状況等検討し導入予定**
- ・ グループでの活動を子どもも楽しみにしているようなので、可能な時に SST を「できた！」と意識できる形で入れて欲しい。⇒**導入可能**

## 4 希望される支援の内容

支援内容/年齢（歳）	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	計
身辺自立				2	1	1	1				5
言葉を育てる			1	5	2	2	1		1		12
身体の使い方				4	3	1	1				9
感情コントロール		1		7	3	2	1	1	1		16
小集団の中での子ども同士の関わり方	1	1	1	7	3	2	1	1	1		18
将来に向けての生活技術	1		1	4	4	3	1	1	1	1	17
地域との交流				1	1						2
就学に向けての準備	1	1	1	8							11
発達検査	1		1	2	2	1	1				8
言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・心理士等の専門職による支援	1			3	1	1				1	7
家族がお子様への関わり方などを学ぶ（学習会）等の場	1		1	4	2	2					10
同じ立場の保護者や家族が話しをする場				1		1					2
研修会等への案内				2	1					1	4
他機関との連携	1		1	4	2	3		1			12
その他							1				1
計	7	3	7	54	25	19	8	4	4	3	134

## その他ご希望

- ・ 看護師さんがいて欲しい⇒募集中
- ・ 大変かと思いますが、外食（マナー等学べる）今の時期だとスケートやボーリング（温泉）を経験するとか⇒一部平成 29 年度活動計画



V 連絡帳について（単独療育をご利用されているお子様について本日の支援内容についてお知らせしています）

① 1日の流れについて

年齢	解りやすい	解りにくい
3歳		
4歳		
5歳		
6歳	5	1
7歳	4	
8歳	3	
9歳	1	
10歳	1	
12歳		
13歳	1	
合計	15	1

② 支援内容について

年齢	解りやすい	解りにくい
3歳		
4歳		
5歳		
6歳	5	1
7歳	4	
8歳	3	
9歳	1	
10歳	1	
12歳		
13歳	1	
合計	15	1

③ 保護者記入欄について

年齢	いまのままで良い	もっと広くして欲しい
3歳		
4歳		
5歳		
6歳	4	1
7歳	4	
8歳	3	
9歳	1	
10歳	1	

12 歳		1
13 歳	1	
合計	14	2

## ④活動内容の記入について

年齢	いまのままで良い	もっと広くして欲しい	もっと少なくして欲しい
3 歳			
4 歳			
5 歳			
6 歳	5	1	
7 歳	4		
8 歳	3		
9 歳	1		
10 歳	1		
12 歳	1		
13 歳	1		
合計	16	1	0

## ⑤その他

## (支援目標について)

- ・ 解かりやすいが、今の子どもの現状から言うと難しいような…

## (活動内容の記入について)

- ・ 終日利用しているのに活動が何も記入していない時がある。何をしているのか分からない
- ・ 困りがあった時、どう対処してどうなったか（子どもがどう出来たか）が記入してあり、分かりやすい。家庭でも役に立つ情報はどんどん書いて欲しい。

## (一日の流れについての項目にて)

- ・ 日本語が読めないから解りにくい

## (保護者記入欄について)

- ・ 日本語や意味が分からないので、書いていません。

## VI のびのびハウスの活動について、その他ご意見やご要望を自由にご記入ください。

- ・ 将来を見据えた、支援をして欲しい⇒個別療育の利用の促しを行い、個別支援計画を基に保護者と共通認識を持って療育を行う。
- ・ 短い時間の利用なのでスケジュールも厳しいとは思いますが。6年生ともなると宿題だけで手いっぱいになり、活動するのは厳しいかなあと考えています。今…少しでも体を動かす事を取入れてもらい、すっきりして帰ってくるようになりました。行きたくない、騒がしいから…と多々言ってますが、場所が違うところでどう対処するかの勉強をしている事を話してます。読書の時間？にもう少し高学年の本が有るといいなあ…と話してました⇒平成29年度阿蘇市立図書館の利用経験を活動に導入計画
- ・ 家が遠くてなかなか利用が難しいところがあります。子どもの為には利用したいと思



っています。

家庭の事情によっては自宅までの送迎をして頂けないかと思えます⇒往復1時間  
の範囲内での送迎は継続利用可能。

- ・ 新年度等スタッフの方の異動が有った時等にプリントにてスタッフ紹介が有ると親として安心感が持てるのでお願いしたい⇒のびのびハウスのおたよりにて掲載
- ・ 特にありません。いつもありがとうございます。
- ・ 仕事が有るので単独療育があり、すごく助かっています。
- ・ 特には無いのですが、1番は箸の持ち方。食事の時食べる順番△（さんかく）で食べる。家でも食べる順番しているが、絵に描いてしているが中々…。のびのびでも取り入れて欲しいです⇒単独療育が中心の利用児については支援目標の共通認識となるよう個別療育の利用の促しを行い、個別支援計画を基に保護者と共通認識を持って療育を行う。

#### 《アンケートを通して見えてきたもの》

今回、保護者のニーズをより深く理解するために保護者向けにアンケート調査を行い、支援者の立場で考えるサービス提供にと保護者の求める支援の違いについて考える機会となり今後の方向性の検討に大いに参考になった。

特に困りを抱える児にとって身辺自立面の発達や成功経験については将来を見通した成長には欠かせないと考えるが、保護者の感じる自立とは大きな違いが有り、現在の取り組みがどこを目指しているのか児に与える影響も含め、より丁寧な関わりの中で保護者に理解して頂く事の重要性を感じた。

今後ものびのびハウスでは丁寧な子育て支援である療育を保護者・支援者も含め行う。